

西谷コミュニティが

5才になりました

西谷コミュニティは、間もなく満5才になります。地域住民の皆様を支えられて西谷コミュニティは、目標に向かって一歩ずつ着実に進んでいます。

地域住民の協同意識が強く手を取り合っており、和やかに暮らせる地域作りを目指して五年、総務、青少年文化、広報、福祉の4つの部会が互いに連携を取りながら活動を続けています。

そして、今年には西谷小学校区人権啓発推進委員会の皆さんの理解を頂いて、「人権啓発部会」を設置し、同和問題をはじめとする人権問題に取り組んで頂くことになりました。

ともすれば失いがちな「基本的人権の尊重」を、この部会活動によって学んで行きたいと思えます。

更に、阪神淡路大震災を契機に、自分自身で地域を災害から護る「自主防災組織」の結成が急がれています。各集落での早期結成(平成11年度内)に向けての取り組みをするための組織造りをしなければなりません。

そして、今年の緊急課題は、「西谷地区コミュニティ施設」の建設を市に要望することです。第三次総合計画に盛り込まれながら、諸般の事情で実現されなかった「西谷地区コミュニティ施設」を、皆さんの協力を得て早期に着工するよう強力に要望致します。

今年7月8日は西谷コミュニティの満5才の誕生日です。これからも、皆さんとともに「よりよい地域づくり」に励んで参りますので、ご協力、ご支援をお願い致します。

(西谷コミュニティ会長 前坂 定義)

西谷コミュニティ

私達の西谷地区は、素晴らしい自然環境のなか、人情味豊かな生活を営んでいます。しかしながら最近、この西谷地区も大きな社会経済情勢の変化と無縁ではなくなり、人々の意識や価値観も徐々に変わりつつあります。物質的に豊かになった反面、心のふれあい機会が少しずつ失くなってきてはいないでしょうか。

西谷コミュニティとは、西谷に住む人々がふれあいや共同の活動、共通の理解や経験を通して自治意識や連帯感を生みだしていく、そのような関係を基本にして“住みよいまち(ふるさと)づくり”を進めている組織です。

第17回 西谷ふるさとまつり

7月24日(土)西谷小校庭

主催：西谷中学校区青少年育成市民会議
くわしいお知らせは後日...



情報化、国際化、高齢化、少子化、価値観の多様化等変動する社会の中で、子ども達の不登校、いじめ、自殺等の行動は大きな社会問題になっていきます。

そこで、子ども達が自ら考え、判断し、行動する「生きる力」を育むために、自然体験、生活体験、社会体験等を積み重ねることの必要性が重視されています。

21世紀を担う子ども達が、心豊かに生きる力を培い、国際人に成長するためのニーズに応えた少年自然の家の運営に邁進いたします。ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

(少年自然の家所長 田中 盾夫)



豊かな自然と快適な生活空間を合わせ持った地域の実現をめざして、西谷地区住民の皆様によりにされる支所になるよう仕事をしたいと考えています。よろしくお願いたします。

(宝塚市役所西谷支所長 三入 進一)



本校に来て、何か故郷に帰った様な気がします。自分の生まれた家は回りを田畑に囲まれ、南は中国山地に連なる山々、北には遠く中海の見える西谷のような田舎でした。

西谷の子ども達に出会ったとき、素朴さが印象に残りました。少し慣れると人懐っこく明るく素直に話しかけてきます。そんな子ども達が大好きです。

保護者・地域のお力をお借りしながら、本校の教職員と力を合わせながら、より地域に愛され、親しまれる学校になるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

(西谷小学校教頭 加藤 秀明)

どうぞ
よろしく



行事予定

- 幼稚園.....
- 6/18(金) 老人会との交流
中部老人会の方々とゲートボール、おはじき、おしゃみ等で遊びます
- 19(土) 仲よしあそび
地域の未就園児を招いて遊びます
- 7/6(火) 歯医者さんの歯みがき指導
- 8(木) 伊丹ウォーターランドへ行きます
- 小学校.....
- 6/20(日) ファミリー参観
教育講演会
神谷 徹さん(大阪音大講師・日本テレマン協会ソリスト)を招きます 協力：西谷幼・中
- 7/9(金) CAP講座(4年生対象)
先生方と育友会との座談会
- 中学校.....
- 6/19(土) ふるさと倶楽部
西谷老人会の皆さんの指導でゲートボール、囲碁、料理、手芸等を楽しみます

パワーアップしてスタート

西谷地域ふれあいの会

当会は松本孝一会長のもと、15名の委員が地域の安全上の諸問題を取り上げ、それを解決するための活動を行っているボランティア組織です。

この度、4月1日付で西谷郵便局長の奥村さんと阪急田園バス(株)常務の石原さんが新たに委嘱され、西谷地区全域の情報が入りやすくなりました。地域の安全活動に成果が上がることと思います。

今後も皆さん方のご支援をお願いいたします。

(宝塚警察大原野駐在所 村上 公一)



遺産的団体の保護を

西谷婦人会

本年度の西谷地区婦人会は、上佐、長谷、東部、中部、西部、境野、玉瀬、切畑の8支部319名で運営しております。

平成3年に結成70周年を迎え、一時は会員数も500人を擁し、他の団体とは人数的に格段の差があり、婦人会は不滅の団体であると信じていました。ところが、近年、女性の社会進出が定着し、様々な社会情勢の変化と氾濫の中、婦人会の旧態依然とした活動が煩わしく感じられるようになったのか、休会という体裁のいい名目で本会を離れていく支部や個人が後を断ちません。其々の理由は違いますが、休会が変じて退会になりつつあるのを憂います。

日本は、近代社会への道程で古いものを壊し、新しいものへ変えることが近代社会の象徴であるかの如く急進して来ました。しかし、この近代社会が20世紀末の現在、政治的混迷や産業経済の停滞など先の見えない閉塞状態に陥っています。

21世紀を迎える私達に課せられた役割は、取捨選択のできる目を養い、連帯と共生型社会を造っていくことではないでしょうか。婦人会は、それを実現させる主体となるべきです。一人ひとりの新たな発想と積極的な行動が有効に社会を動かす時代です。自分が何かを変えることができるとは思えないかもしれませんが、私達の婦人会は、輝かしい歴史と意義ある活動を擁し、先人達が残してくれた遺産的団体です。従来の発想や固定観念が通用しなくなった混迷期の今こそ、時代に流されることなく地域で支え、新しい感覚と情熱、経験豊かな先輩諸姉の意見とが互いに溶け合い、相互の理解を深め、組織の輪を大きく広げながら次世代に向かって大きくなりぬりとなり、この婦人会から新しい世紀を開く力となりましょう。(会長 西久保信子)

中学校の図書室が地域の皆さんに開放されて1年が過ぎました。約6000冊の本に加えて、地域の方からお借りした本270冊もご利用を待っています。5月末現在、「西谷文庫」の登録者数は100人、利用者数(延)は699人、貸し出し冊数は746冊になりました。開放時間は第1・3・5土曜日…12:30~14:30 第2・4土曜日…9:30~11:30 学校行事等により変更になる場合もあります。(西谷中学校図書室・図書室ボランティア)

☆実現☆

夢の日本武道館

—大正琴「さくら会」—

私達は、昨年4月から、三田市志手原より田中先生に来ていただき、月2回の練習に励んでいます。先生のご指導は、とても分かりやすく優しく、夜のひとときが楽しく過ぎていきます。

最初は「きらきら星」の童謡に始まり、「星影のワルツ」や「千曲川」など、今では18曲が弾けるようになりました。心に少し余裕が出来て、歌詞を口ずさみながら弾けるようになり、嬉しくなってきました。

来る6月20日には、柏原にある丹波の森公苑ホールで発表会があり、その日に向けて練習を続けています。また、来年は琴修会創立20周年に当たり、1月には、日本武道館で全国大会が開催され、私達も大舞台に立たせていただくことになっており、まるで夢のようです。まだまだ未熟ですが、夢の実現に向かって、皆で一生懸命お稽古に励もうと張り切っています。

(東部 嶋田 良子)

塗家啓二団長 藍綬褒章受章

平成11年春の褒賞で塗家団長が45年の長きにわたる消防団活動の功績を讃えられ、藍綬褒章を受章されました。

氏は、昭和29年入団以来、幾多の災害活動に従事され、平成元年から消防団長として市内11分団190名を取りまとめ、特に北部地区の消防防災のリーダーとして活躍されています。



福祉部会

5月19日(水)、部会を開きました。役員選任、平成10年度事業報告・各地域福祉部の活動報告・収支決算等、平成11年度の取り組みについては、介護保険制度の学習会・収支予算を審議しました。

◎平成10年度各地区の活動

- 各種団体との交流会を持った地区：4
- 施設見学実施地区 希望の家：2
- 宝塚ステップハウス：1
- シニアコミュニティ：2
- 福祉サービスについての学習会 ……1
- 介護保険制度の学習会 ……2
- 各地区会則作りや活動計画の学習 ……2

など、地区各々に活動しました。交流会も度重なる毎に大きな輪に広がっていき事でしょう。平成11年度の各地区の活動については、目前に迫った介護保険制度の学習会や、施設見学が計画されています。中部地区では、老人会の食事を・夏休みラジオ体操に老人会が参加し参加賞を、下佐曾利地区も夏休み60才以上の方々のラジオ体操参加者に参加賞を考えています。出来るだけ多くの方が参加され、地域の輪・和が広がるよう、ご協力をお願いします。

青少年・文化部会

6月7日から始まった西谷中学校2年生38人の「トライやるウィーク」はその間、地域の方とのた

くさんのふれあいや支えをいただきながら6月11日に無事終了いたしました。「トライやる」初日は雨から始まりましたが、二日目からはカラッと晴れわたり、気持ちよく活動することができました。中学生の活動場所は西谷地区で9カ所、市南部で1カ所。

ゴルフ場では、クラブをにぎり打たせてもらったこともありましたが、タオルたたみ、そうじ、草ひきもしました。

病院や希望の家、シニアコミュニティでは食事のお手伝い、車椅子押し、入浴手伝いなどをし、みんなの一生懸命さが伝わって、生きていることの有り難さ、命の大切さを学ぶこともできました。

幼稚園では、いっしょにさつま芋の苗を植えたり、遊んだり、楽しい思い出がいっぱいできました。

植花夢では、草と人との関わりから地球環境のことでまで教えていただきました。ヘビイチゴは食べてはいけない実だと思っていたけど食べられることなど、理科の授業では聞けない、為になる話も聞きまし。でも、仕事はひたすら草引き。今まで家でもしたことないほど草を引きました。

「トライやる」の中間を過ぎると、だんだんとみんなの疲れも出てきたようです。昼は家からの手づくり弁当をほうばってホッとしたり、グッタリしたり…。また、期間中は、うれしくなったり胸がキュンとなる思いもして、学校の中では決して味わえないいろいろな体験をさせていただきました。そして今、生徒達は生き生きとしたいい顔で学校へ帰ってきました。

最後に各事業所の格別のご厚意と指導ボランティアのみなさまのあたたかいご指導に感謝致します。本当にありがとうございます。

広報部会

(西谷中学校)

5年という節目に当たり今までの広報のあり方を振り返り、経験、反省の上にならば更に当地に必要なとする活動と地域課題を、皆様と共に考え解決すべき時代が次世紀には必要となつてきます。まず、家庭でのコミュニケーションを今一度振り返り、話し合っていたらいいと思います。本年度より年間4回の発行となり、よりきめ細かな豊かな内容となります。皆様のご協力をお願いします。

- 池西幸代 中井喜美代 石井英子 森脇陽子 福
- 井美八子 龍見綾子 船岡房代 西畑美也子 辰
- 川美知子 金 清美 岸 恭子
- (青少年・文化部会広報担当) 森脇眞由美・崎 桂子
- (福祉部会広報担当) 今西紀代子